

総合計画とまちづくり

岡山大学大学院・経済学部

中村良平

1. まちづくりの着眼点



まちづくりのマクロとミクロ

集計されたデータでまちを見る …… 計画の達成目標値にも使われる
個別にどういう状況なのかを見る …… ワークショップ、自治会、企業ヒアリング

産業振興で、マッチング・異業種交流は良く言われるが・・・

係、課の横断的視点が必要

<例>

社会福祉は、最も下流・川下の話、消費者に近く生産者からは遠い

社会福祉をするには、人もいれば、道具、場所も必要

人はサービスをする。どのようなサービスをするかは人が考える。

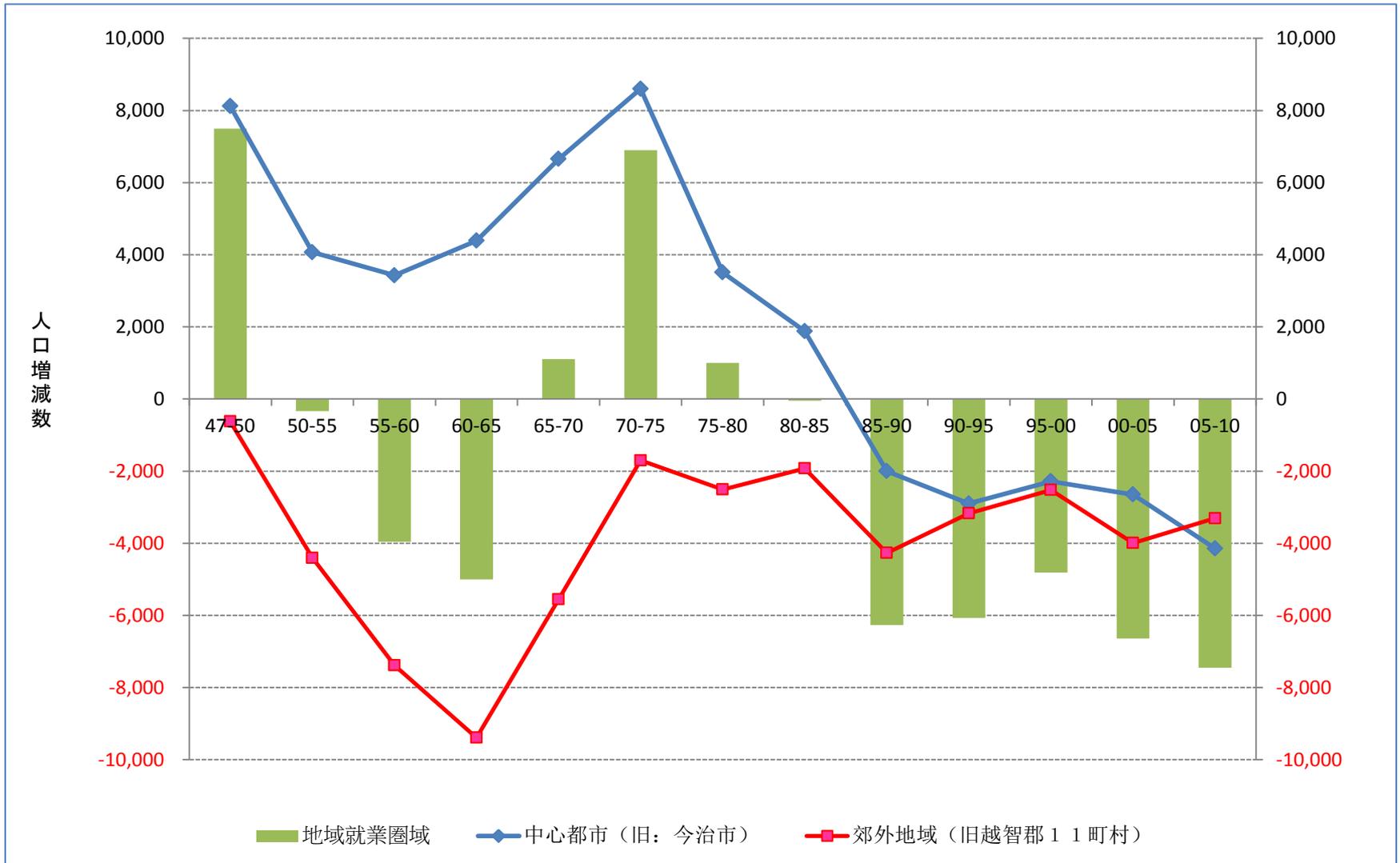
これらシステムを考えるには

道具を作るのはメーカー（製造業）、それを売るのはリテイラー（卸・小売業）

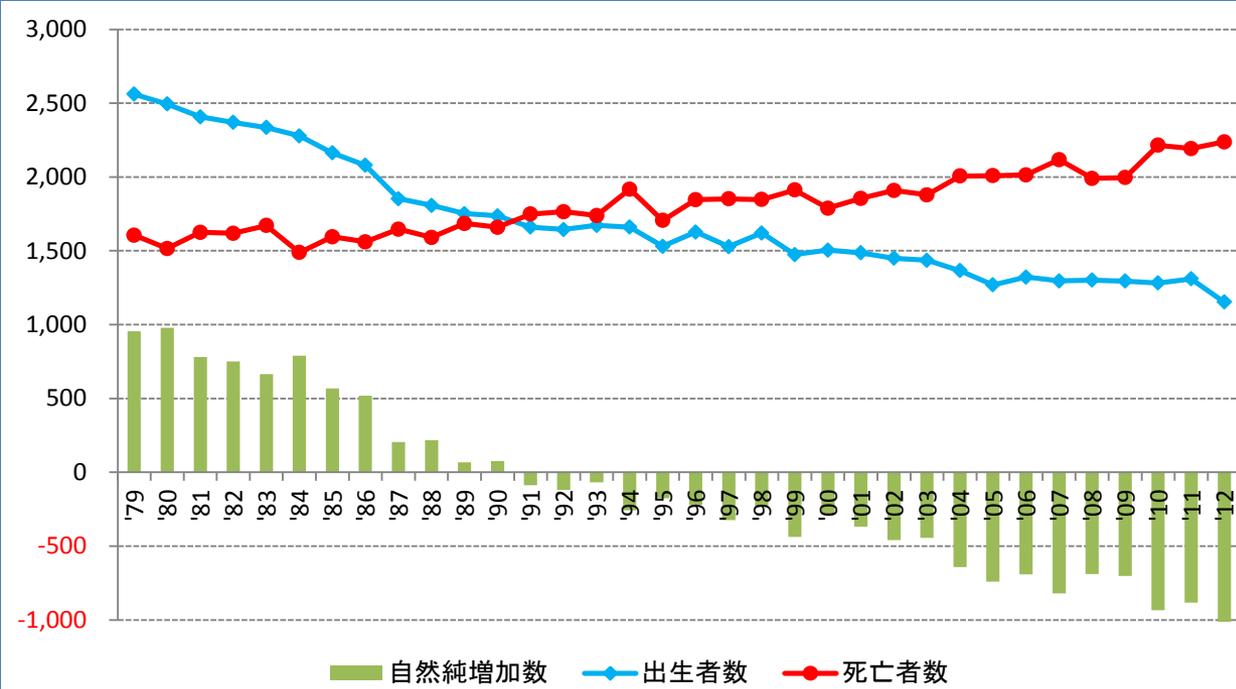
どんな道具が良いかは、デマンド（利用者）の意見

誰が、そのアイデアを実現するの？ 行政、NPO、メーカー、大学？

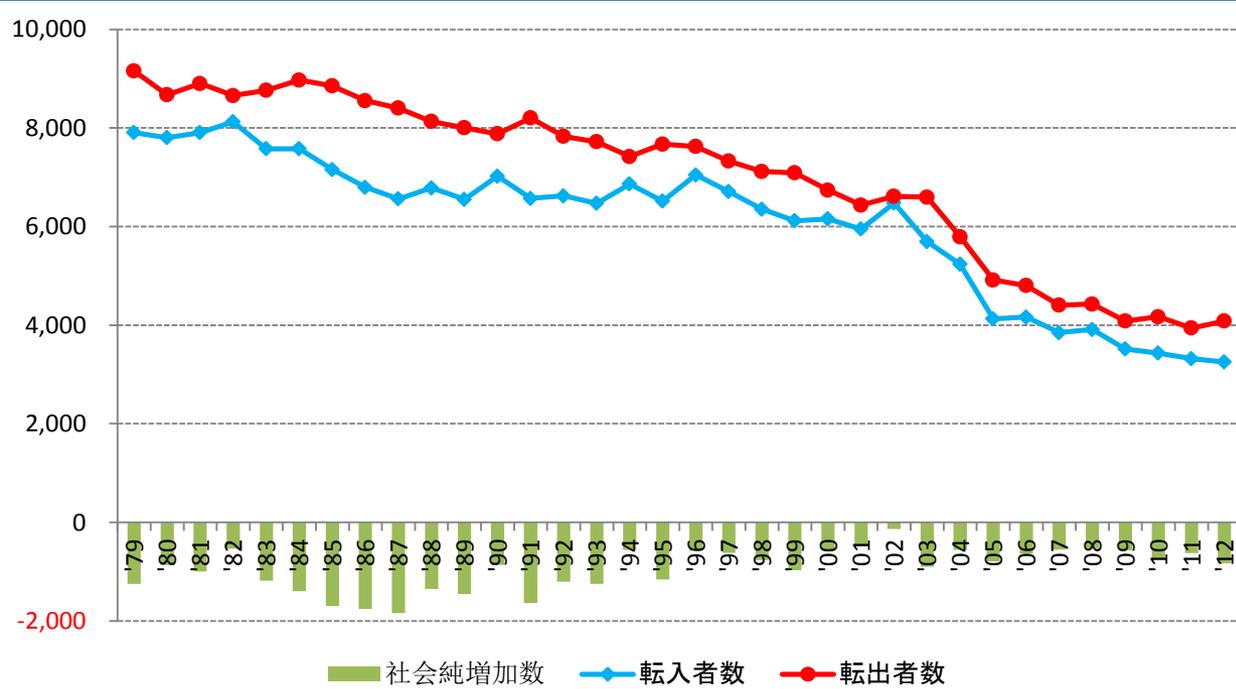
今治地域就業圏域の発展段階



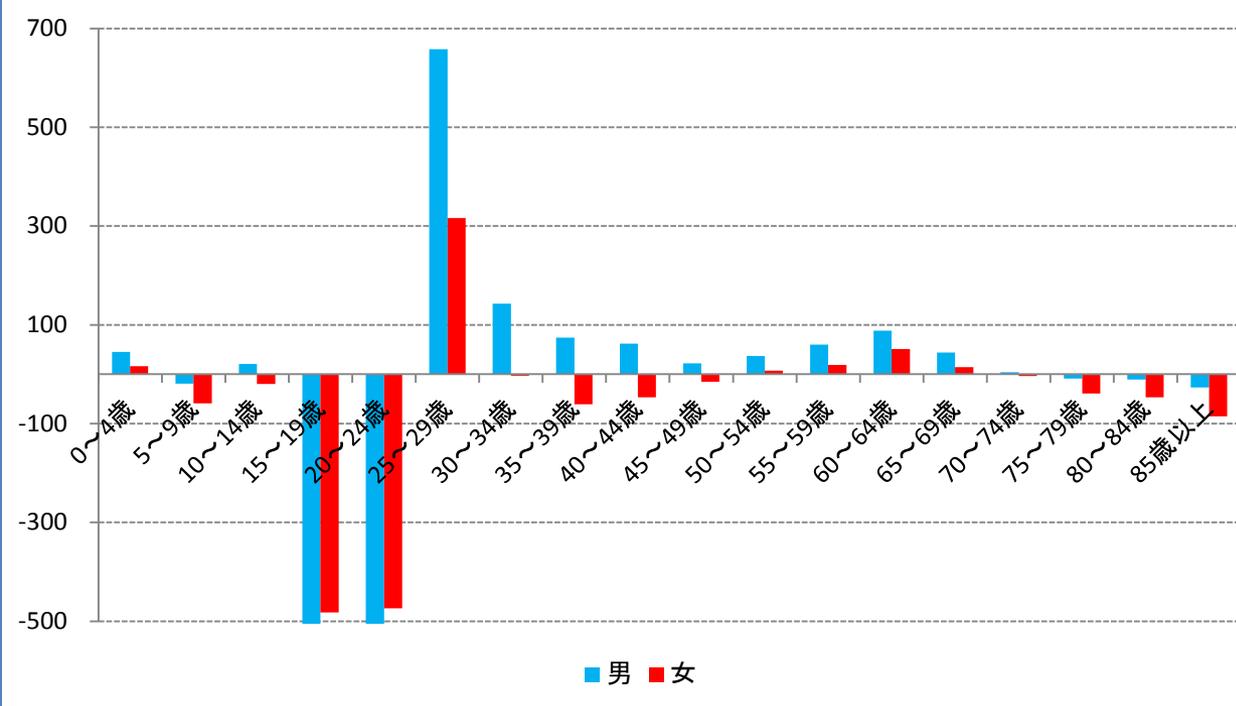
出生者数、死亡者数
自然純増加数
住民基本台帳人口



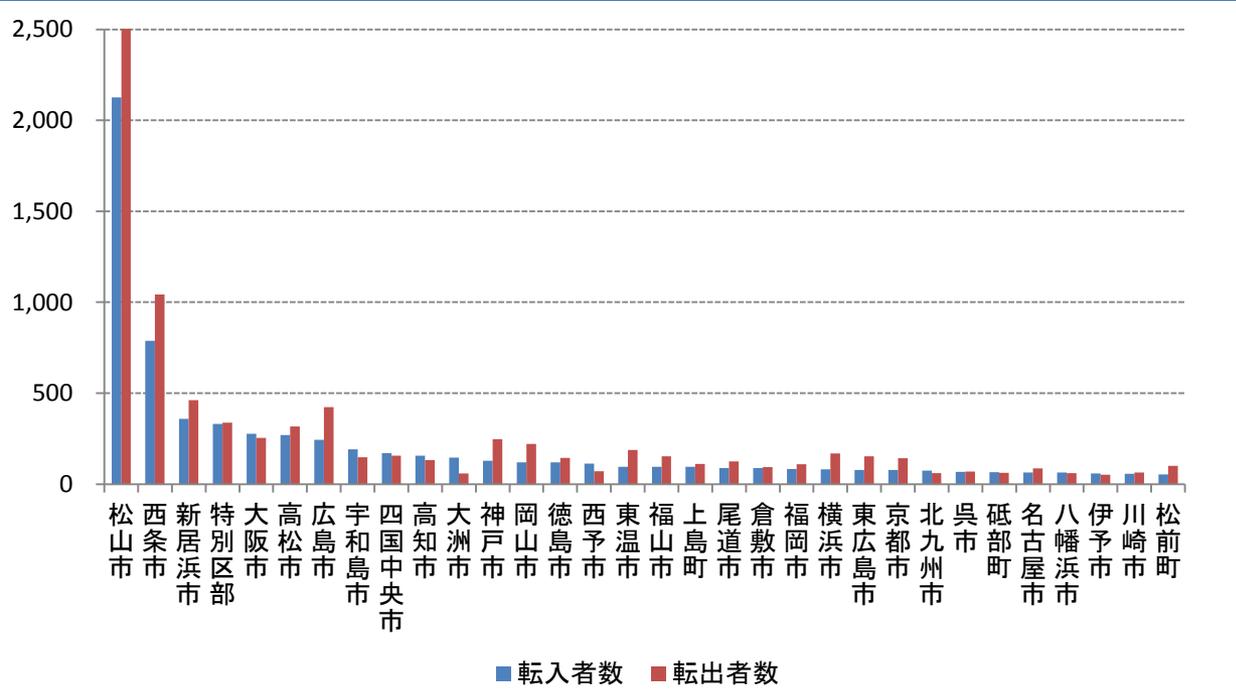
転入者数、転出者数
社会純増加数
住民基本台帳人口



2005年～2010年 人口移動
 年齢階層別・男女別
 国勢調査(2010年)



2005年～2010年 人口移動
 転入者数の多い市町村順
 国勢調査(2010年)



自然増減

生まれる、育てる

健康寿命

社会増減

住みやすさ

働く機会、多様性

働く機会を誰がどの様に創り出すか？

2. まちづくりの取り組み事例

総合計画策定に当たって

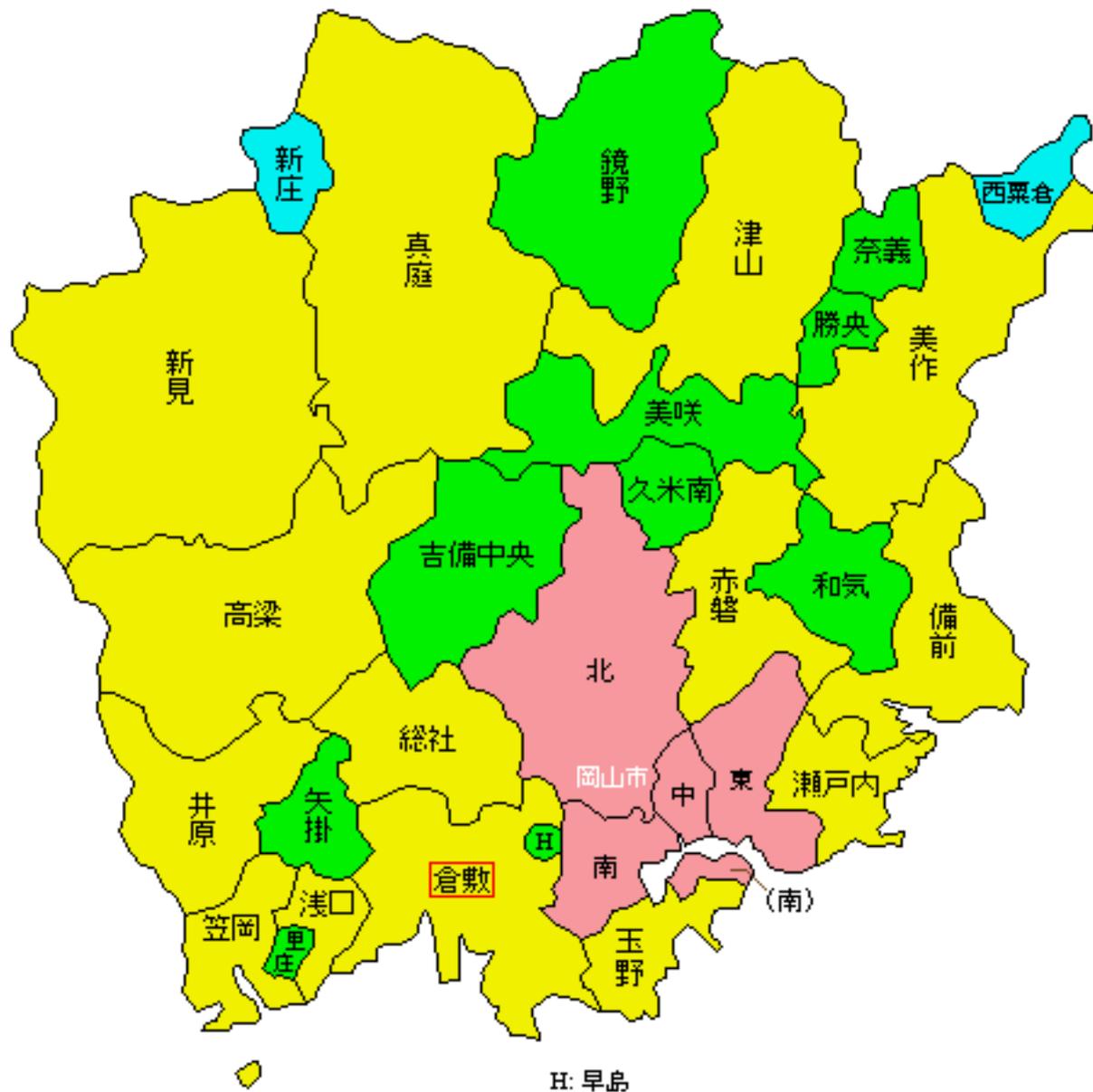
- 1998～2000年 30代の職員中心に18名程度で
- 「津山市いきいきアカデミー」(市長直轄)
- そこで、津山市 事業評価システムの開発
- グループ別に実施した事業を取り上げ検証

訪問回数 → 元気になった指標

まちの総合計画や振興計画について、この3年間で関わった事例

- 岡山県久米南町 町の振興計画 平成23年度
- 岡山県井原市 総合計画、後期 平成24年度
- 岡山県笠岡市 産業振興ビジョン 平成25年度
- 岡山県里庄町 町の振興計画 平成26年度(策定中)
- 岡山県倉敷市 産業振興計画 平成25年度
- 兵庫県豊岡市 経済成長戦略会議 平成20年度～
- 兵庫県朝来市 経済成長戦略会議 平成25年度～

外国の例、オレゴン州ポートランド



住民基本台帳人口(平成24年3月) 津山市:約104,000人井原市:約42,000人、笠岡市:約52,000人、
里庄町:約11,000人

津山市 事業評価

- 事務事業も公共事業も
- 自分が担当した仕事(事業)が、当初の目標水準に達しているか、かかった費用はどの程度か、そして市民にどういった便益・効果をもたらしているかを検証。必要に応じてアンケート調査も実施。
- 新しい費用対効果の尺度を導入 → 実質成果指標
成果 ÷ 費用
(実際の成果) ÷ (実際の費用)
- これに基づいて、事業を提案

岡山県久米南町 まちの振興計画

- 人口は、平成22年国勢調査で5300人
- NPO(まちづくり推進機構おかやま)が受託
- まちの中学生にもアンケートを実施
 - 町民意識調査 1000枚配付で506枚回収
 - 中学生意識調査 129人に配付して119枚の回収
- 徹底したWS形式を採用

岡山県笠岡市 産業振興ビジョン

- 第六次笠岡市総合計画における産業分野に関する個別計画の位置付け
- 職員、市民、議員、外部からなる「かさおかの新しいしごとづくり会議」を組織、70名。
- 策定委員会(審議会)も組織
- 2層構造でビジョン作成

オレゴン州ポートランド市の取り組み

住民参加の仕組みにノウハウ

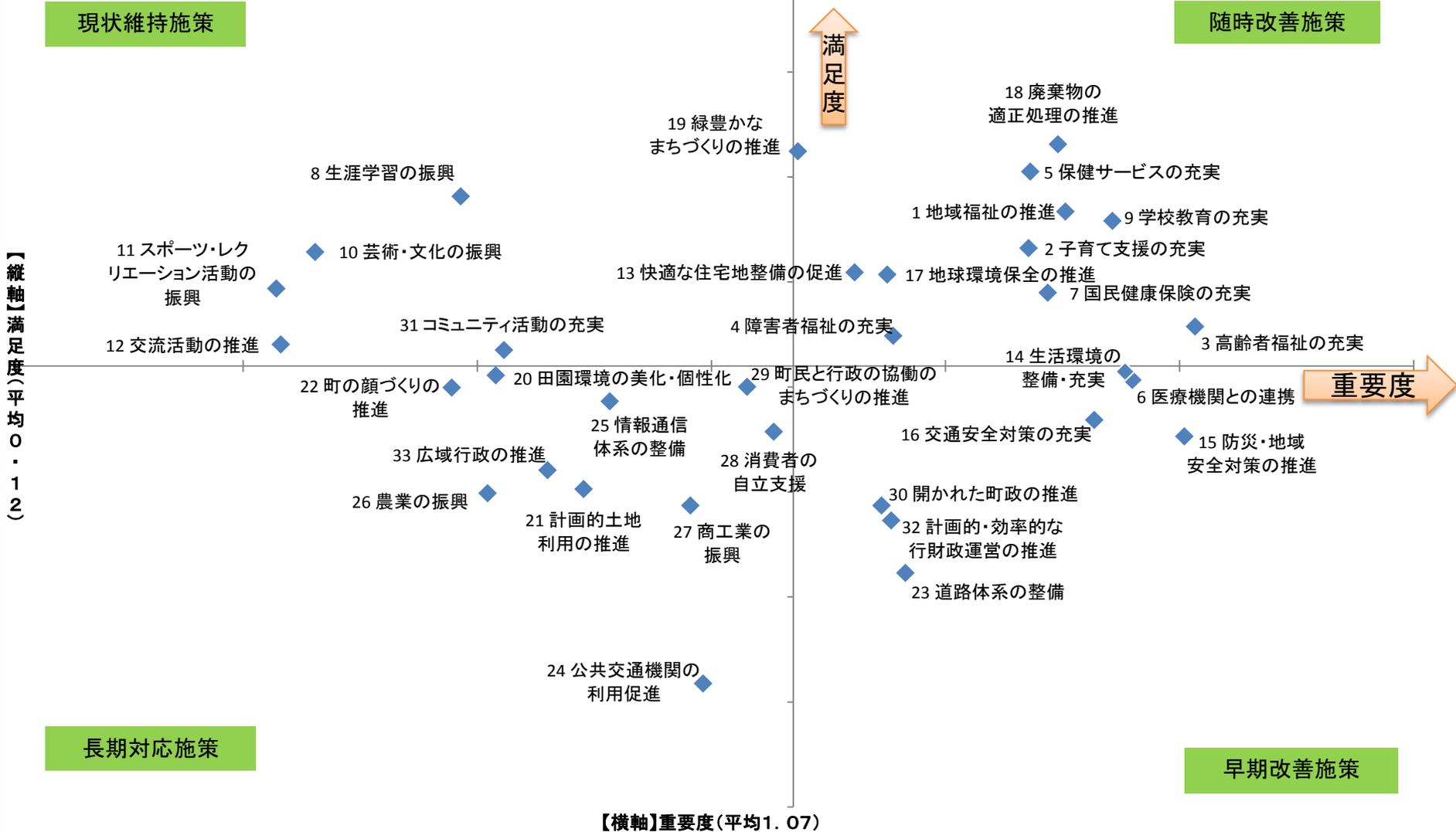
- 「住民参加による合意形成」である。住民がどう行政に参加し、合意形成するかという、ソフトウェアのインフラ。「ポートランドには地域の未来を良くするために、住民が参加する仕組みがある」。
- 都市を設計する際には、50～100人の関係者を同じ場所に集める。彼らは10～15人の小集団で話し合う。議論の調整役となるファシリテーターがプランナーを兼務し、合意内容をトレーシングペーパーの上に描く。議論が終わればトレーシングペーパーを合体し、矛盾点を調整する。こうしてできた合意済みのマスタープランを、後は実行するのみ。
- 「ネイバーフッド」という市公認の町内会が95。日本の町内会より権限が大きく、土地利用計画も策定する。「移り住んだばかりの人たちの意見も聞き、街づくりに生かす」
- オレゴン州は住民自治の進んだ州として知られる。米国の多くの州で、選挙の際に市民が提案した政策の是非を問う住民投票を実施するが、同州が先駆け。
- Office of Neighborhood Involvement



3. アンケートの読み方

岡山県里庄町のアンケート結果から

基本施策別の重要度・満足度(指数化)の分布



- 住民評価(満足度)と達成指標の数値は整合的か？

- 重要度が高い項目

→ どのような世帯がそう考えているのか

- 重要度(高)・満足度(低)

地域振興に関わるマクロ的なものが上位

- 高齢者福祉サービス、高齢者福祉施設

数の問題か、サービス内容の問題か

- 子育て支援サービス、支援施設

数の問題か、サービス内容の問題か



同規模の都市と比べてどうか？

- 市民の協力無くしては改善できないもの

中心市街地(買い物)、環境(21)、公共交通(9)、まちづくり(38)

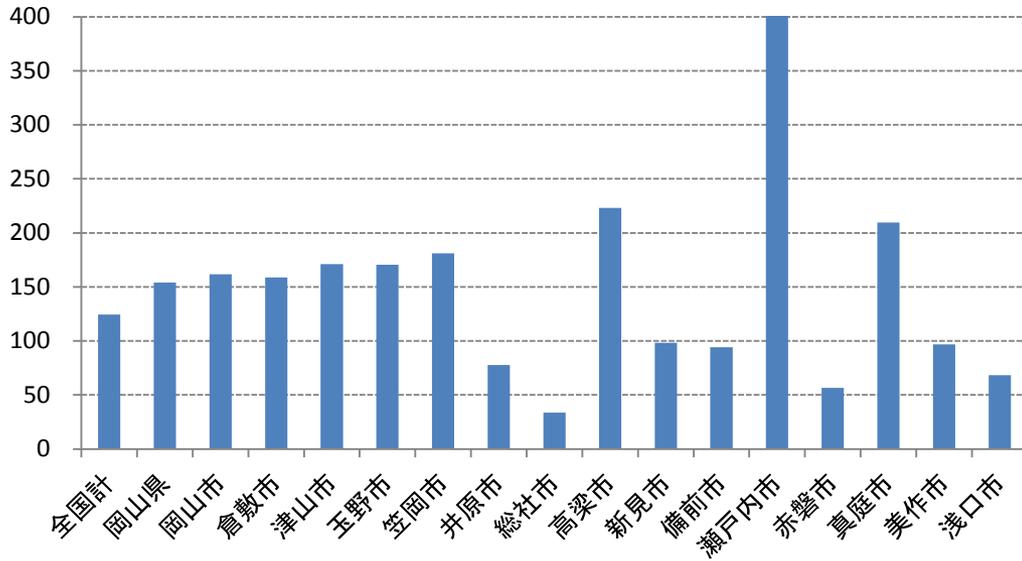
これからやるべきこと

- i. 特色ある施策を一課で一つ
- ii. 施策進捗度のきめ細かな確認(チェック)
- iii. 地域の自立度を確認
- iv. 住民の幸福度を確認

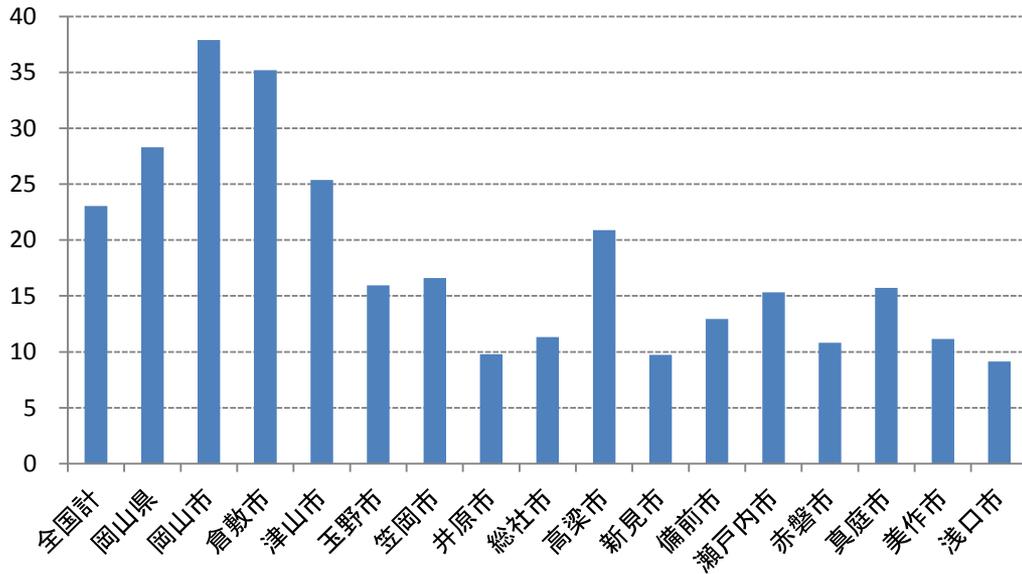
i . 特色ある施策を一課で一つ

- 関心度が高いが満足度の低い項目に着目
- 現場に行って、利用者として体験
- ただし、一つの施策(事業)で問題が解決できることは少ない
- プロジェクト方式を採用する

人口1万人当たり病床数



人口1万人当たり医師数



SWOT

井原市の総合計画資料

10頁のグラフを見ると、

「地域の医療体制の充

実」の関心度が高く、かつ

満足度が低く出ている。

実際のデータで見ると、

地域医療と住民福祉の充実

地域医療システムを考える

- ・医師
- ・ケアマネージャー

地域コミュニティを考える

地域居住のあり方考える

地域商業のあり方考える

地域における新しい仕事

ii . 施策進捗度のきめ細かな確認

- 計画Plan

総合計画の策定

- 実行Do

実施計画の策定から事業実施

- 評価・点検Check

総合計画の実施、その中間達成度チェック

達成できなかった理由を確認、何処に問題？

情報公開、市民の参加

- 再行動Re-Act

iii. 地域の自立度の確認

- 自給自足が自立ではない
- あるものを十分に活かし、それを生活の糧とし、無いものは外から購入する
- これはモノ(財・サービス)だけではない。ヒト(人材)も同じ。
それを遂行するには
- 財やサービスの流れとお金の流れ
 - 企業間の行き来 C to C
 - 企業と消費者との行き来 C to B
 - 地域内での循環、地域外からの購入
- 長野県飯田市の例

➤ 井原市全体で把握する、考える

➤ 地域コミュニティで把握する、考える

- これは地域(コミュニティ)で賄えるが、以外に外に頼っている。
- 地域(コミュニティ)にはこんな優位性(人材など)があるので、それを活用すると外に頼らなくても良いかもしれない。
- さらに外へサービスすることで地域(コミュニティ)に便益をもたらすかも知れない。たとえば、地域の所得とかコミュニティ活動資金など。
- 地域内で循環させれば、効果も大きいし、自立度も高まる。